

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西

②施設・事業所情報

名称：いちごの家・楽園おのころ	種別：地域密着型介護老人福祉施設		
代表者氏名：齋藤 昭	定員（利用人数）：	29	名
所在地：兵庫県南あわじ市榎列下幡多字下幡多804-1			
TEL：0799-43-2121	ホームページ： http://www.ichie-fukushikai.or.jp		
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：平成27年11月1日			
経営法人・設置主体（法人名）：社会福祉法人 いちえ福祉会			
職員数	常勤職員：	15	名
			非常勤職員：
			9
			名
専門職員	（専門職の名称）		名
	介護福祉士	9名（3名）	管理栄養士 1名
	介護支援専門員	2名	看護師 1名（1名）
施設・設備の概要	（居室数）		（設備等）
	29床		非常災害時

③理念・基本方針

一期一会の心をもって最高最善の看護と介護ならびに治療を行い社会に奉仕する 併せてスタッフの自己実現をはかる

④施設・事業所の特徴的な取組

地域での交流や活動参加を図りつつ、小規模で家庭的な環境の中で関係性を築き、利用者がその有する能力に応じて生きがいをもって日常生活を営む

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年2月5日（契約日）～ 令和3年3月31日（評価結果確定日）
受審回数 （前回の受審時期）	初回（なし）

⑥総評

◇特に評価の高い点

法人は、グループである母体医療法人をベースに医療と福祉が一体となった地域包括ケアを目指している。これまでも島内で積極的に地域密着型サービスを手掛け在宅サービスの拡充を図り、地域住民が住み慣れた所でいつまでも暮らせるよう一人暮らしの高齢者や認知症の人、介護している家族等への隙間のない支援を実践している。理念である「一期一会の心」には、利用者、家族、職員、地域住民が共になくてはならない存在として認め合い、新たな出会いも含めたつながりを、かけがえのないものとして大事にしたいとの願いが込められている。中でも地域の適材適所としてのシニア雇用の促進、ボランティアの活用は、高齢者の役割、生きがいにもつながり、介護予防としての効果も見込まれる。施設にとっても、人材確保以上に、より開かれた施設として信頼を得ることとなり周知を広げるきっかけになる。

この度の受審が、グループ初の地域密着型の特別養護老人ホームとしての役割を再認識する機会となり、地域との連携強化及び地域の現状や課題を踏まえた法人としての成すべき地域貢献活動を考える一助となることを望みたい。

自然に恵まれた馴染みの環境の中で医療と福祉の手厚い連携体制のもと、地域のつながりを大切に、島民の望む暮らしを実現していただきたい。

◇改善を求められる点

利用者一人ひとりの暮らし方や想いを尊重するためにも、権利擁護に関する書類や体制整備は、早急に着手していただきたい。

法人として求められる情報公開、地域密着型サービスとしての役割等を明確にした中長期計画の作成は、確実な事業実現に必要な地域との協力関係、信頼関係を深めるためにも必要と思われる。同様に運営推進会議の活用と充実、積極的な情報発信についても工夫してほしい。

人材育成面については、現場職員の主体的、自発的な意見や提案による意識改革、そのための職員参画の仕組みが必要と思われる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

書類は文書化で周知徹底しサービス提供できるように整備する。地域密着型サービスとしての中長期計画の見直しをして作成し全職員参画での取り組みが出来る組織を目指して改善に努めたい。

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・(b)・c
<コメント> 理念や基本方針が広報紙のみの記載で利用者や家族に向けたパンフレットへの記載およびわかりやすい資料の作成、説明がなされていない。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・(c)
<コメント> 地域の特性や課題等の把握、分析なくして地域密着型サービスとしての事業展開、将来像は描けないと考えられる。市との密な情報交換、協力関係を望みたい。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・(b)・c
<コメント> 管理者・リーダー会議での説明だけでなく、ユニット会議等、全職員への周知徹底が望まれる。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・(c)
<コメント> 理念や基本方針の達成を施設の目標とする姿勢と捉えられるが、制度改正を踏まえ、単年度計画達成に向けた具体的かつ明確な中・長期計画（3～5）年を作成して頂きたい。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・(c)
<コメント> 単年度計画の実効性をより高めるためにも、明確な中・長期計画が必要と思われる。		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<コメント> 施設長や一部の職員ではなく、職員自らの意見や意向による事業計画の作成が望まれる。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<コメント> 法人や施設の姿勢、考え、また利用者や家族に関わる内容など、出来るだけ情報提供、発信することで、施設への理解や協力関係がより深まるのではないかと。運営推進会議の活用も検討いただきたい。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<コメント> この度の受審を気に系青区的な自己評価の実施、定期的な第三者評価の受審を検討いただきたい。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<コメント> 今回の受審をサービスの質の向上に活かし、具体的、計画的な改善計画の作成を望みたい。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<コメント> 例えば、年度当初に管理者としての姿勢、考え、目標など、職員参画への理解を図るためにも、わかりやすい形での表明の場があってもいいのではないかと。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 施設長としての統括的な立場で、関連する法令等の把握、徹底に努めている。		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 管理者のサービスの質の向上に向けた意識は高く、改善に向けた職員への指導には力を入れている。職員自らの提案等をより促すための働きかけ、しくみがより必要ではないか。		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 管理者は、経営の安定化に向けた具体的な取組、働きやすい職場環境に向けた人員配置等への高い意識を持ち、積極的に推進、参画している。		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・Ⓒ
<コメント> 今後の理念の実現に向けた体制確保及び事業展開に応じた職員確保や育成に向けた方針、そのための計画は必要ではないだろうか。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 法人として求める職員像を描くことで、より効果的な人事管理につながるのではないかと。正職員以外にも対象を広げるか、または何らかの仕組みが必要と思われる。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・Ⓑ・c
<コメント> 職員のストレスチェック等で心身状態の把握をし、メンタルサポートをすることも大切ではないか。 職員が気持ちよく働くことが出来るために、何でも相談できる体制を作ることも必要と思われる。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 「期待する職員像」の明確にした内容の記載を示してほしい。 対象者全員との中間の話し合いの実施が望まれる。		

18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>内部研修の研修報告書を残し計画の見直しや人権擁護に関する内容を取り入れてほしい。 介護職員やパート職員にも研修参加を勧め促してほしい。 今後は介護に必須の認知症の研修に積極的な参加を望んでいる。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>限定した職員だけの研修でなく、一般介護職員やパート職員にも勧め参加を促してほしい。 内部外部に限らず、研修報告書の提出と同時に、全職員に伝達研修をして共有を図ってほしい。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>技能実習生に限らず、専門学校生等の専門職研修や育成に関する基本姿勢を明文化してほしい。 専門業種の受け入れプログラムやカリキュラムの策定が望まれる。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>詳細な内容をホームページに載せ、公表されてはいいか。 広報紙を定期的に発行し、地域住民にも配布し施設の活動等を広めてほしい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>施設における、事務、経理、取引等に関する事項を全職員の理解を得るために、就業規則等に書き込む方法を取り入れてはいいか。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>今後も地域をつなぐサロン等の充実に努めてほしい 行事や買い物等のボランティア支援にとどまらず、個別の要望にボランティアが関われる配慮も取り入れてほしい。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉 祭り等の地域行事、花見や買い物等の施設行事に対し、ボランティアは登録し研修しているが、個別の対応にも応じてほしい。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉 地域の中で、個々の利用者に対する社会資源をリスト化したり、資料作成に努めてほしい。 個々の利用者に対する社会資源の活用にも、目を向けて取り入れてほしい。 特養との横のつながりを大切に、協力体制を整えてほしい。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉 今後は、地域の活性化や町づくり事業への参加が期待される。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・(c)
<p>〈コメント〉 社会福祉法人としての公益的な事業に取り組んでいただきたい。 住民の相談は受けているものの、多様な相談を受けるための窓口を作ってほしい。 福祉ニーズに対応できるための事業・活動等の計画の明示が望まれる。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 権利擁護や基本的人権への配慮等に関する研修をしてほしい。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・(c)
<コメント> 利用者の意見を広く聴く機会を設けてほしい。 権利擁護に関する研修を、社会福祉協議会職員に講師依頼をされてはどうかか。 職員の意見を聴きながら、それぞれの支援内容マニュアルを作成してほしい。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・(b)・c
<コメント> パンフレット施設ごとにテーマカラーを違えて作成しており、中に挟んだ資料は、料金等についての詳細資料であり、適宜見直しをしている。写真や図を使っているが、誰にでもわかりやすいかという点では不十分である。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
<コメント> 主に、契約時は家族に説明しており、利用者に直接説明することはあまりない。利用中は常に、相談を持ち掛ける姿勢で利用者に話しかけて意向を確認している。 意思決定が困難な利用者への配慮は充分ではない。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 福祉サービスの継続性に配慮した対応は行っているが、決められたしくみはない。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・(c)
<コメント> 食事についてのみ、年1回、ヒアリングで満足度を把握し、栄養・給食委員会で業者へ改善や要望を依頼している。すべてではないが、多少の改善は行われている。		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<コメント> 第三者委員の設置を早急に望みたい。 苦情内容については、利用者や家族にフィードバックし、ホームページでの公表をされたい。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<コメント> 相談窓口等についての分かりやすい文章の配布やポスターの掲示がない。		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<コメント> 相談や意見に対して組織的かつ迅速に対応しているという記録が見られない。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<コメント> リスクマネジメントに関する責任者の明確化、文書化をされたい。 ヒヤリハットの分析により、有効活用をしていただきたい。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制を整備していただきたい。		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にやっている。	a・b・c
<コメント> 自然災害を想定した避難訓練は行っているが、地震を想定した訓練はしていない。 運営推進会議でも協議の機会を設け、今後の協力関係を築いてほしい。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c
<コメント> 標準的な実施方法の文書化が見られず、個々の職員の判断にゆだねられている。		

41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p>〈コメント〉 福祉サービスの標準的な実施方法について文書化をされたい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a・b・c
<p>〈コメント〉 アセスメント、モニタリングの内容、目的について今一度検討いただきたい。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p>〈コメント〉 福祉サービス実施計画の評価・見直しについて、手順、仕組みの整備がない。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉 情報の分別や必要な情報が全職員に的確に届くような仕組みの整備を望む。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>〈コメント〉 個人情報保護規定等により利用者の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定める等、マニュアルの整備をしていただきたい。</p>		

A 内容評価基準

A-1 生活支援の基本と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 生活支援の基本		
A①	A-1-(1)-① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。(特養)	a・b・c
A①	A-1-(1)-① 利用者の心身の状況に応じた生活支援（生活相談等）を行っている。(養護、軽費)	a・b・c
A②	A-1-(1)-② 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	a・b・c

特記事項

利用者個々のこれまでの習慣等の基本的な生活情報だけでなく、生活を楽しむためのその人なりの趣味や好みなどをより丁寧に拾い集めていただきたい。その人ならではの生活リズム、楽しみがあることでより豊かな暮らしになるのではないかな。

日常的な生活の流れの中での利用者の意向の把握や会話の機会はあるものの、利用者が聴いてほしい、話したいなどの想いの察知、利用者の立場に立った細やかな配慮にも目を向けていただきたい。

		第三者評価結果
A-1-(2) 権利擁護		
A③	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a・b・c

特記事項

理念の実現のためにも早急な取組みを望みたい。

A-2 環境の整備

		第三者評価結果
A-2-(1) 利用者の快適性への配慮		
A④	A-2-(1)-① 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	a・b・c

特記事項

コロナ禍により、写真と外からの観察、ヒアリングに限定された情報収集のみであったが、まだ真新しさが残る清潔感のある室内であった。環境美化委員会で、落ち着いて過ごせる家庭的な雰囲気心を心がけ、季節を感じられる設え、飾りなど工夫している。今は感染防止対策を優先し、出入りの際の消毒、体温測定の徹底に努めている。

A-3 生活支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 利用者の状況に応じた支援		
A⑤	A-3-(1)-① 入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
A⑥	A-3-(1)-② 排泄の支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
A⑦	A-3-(1)-③ 移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
A⑧	A-3-(1)-④ 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択などについて支援している。	Ⓐ・b・c
A⑨	A-3-(1)-⑤ 利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑩	A-3-(1)-⑥ 安眠できるように配慮している。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>例えば、季節のゆず湯等の使用により利用者が心身ともにリラックスでき、入浴が楽しいと思える入浴支援を、今後も検討してほしい。</p> <p>トイレでの排泄が継続可能になるよう、少しでも排泄の自立につながり快適な生活がおくれるように努めていただきたい。</p> <p>今後も利用者の望む外出と、一人ひとりに沿った自立支援を意識していただきたい。</p> <p>衣服については利用者個々の個性や好みを尊重している。</p> <p>利用者の意向を尊重して、確かめながら支援をしている。</p> <p>一時的に他の部屋を使用するような事例はないが、何か不都合があれば都度柔軟に対応している。</p>

		第三者評価結果
A-3-(2) 食生活		
A⑪	A-3-(2)-① 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a・Ⓑ・c
A⑫	A-3-(2)-② 食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
A⑬	A-3-(2)-③ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>季節感のある食事内容を今後も取り入れながら、時にメニューの選択ができるように配慮されたい。</p> <p>引き続きおいしい食事の提供に努めていただき、利用者を笑顔にして欲しい。</p> <p>利用者がおいしい食事摂取が維持継続できるように、今後も口腔ケアに努めて欲しい。</p>
--

		第三者評価結果
A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア		
A⑭	A-3-(3)-① 褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	a・b・c

特記事項

褥瘡に対する対策のための指針の作成が必要と思われる。		
----------------------------	--	--

		第三者評価結果
A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養		
A⑮	A-3-(4)-① 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	a・b・c

特記事項

喀痰吸引・経管栄養の実施についての方針等と責任、手順についての明示をされたい。		
---	--	--

		第三者評価結果
A-3-(5) 機能訓練、介護予防		
A⑯	A-3-(5)-① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	a・b・c

特記事項

利用者の状況に合わせて機能訓練を行っているが、計画的な評価・見直しをしていただきたい。		
---	--	--

		第三者評価結果
A-3-(6) 認知症ケア		
A⑰	A-3-(6)-① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	a・b・c

特記事項

研修はすべての職員が受講できているとはいいがたい。
認知症の有無に関わらず、認知症ケアの重要性は増すと思われるので、正職員だけでなく、パート職員や夜勤職員の研修も実施していただきたい。

		第三者評価結果
A-3-(7) 急変時の対応		
A⑱	A-3-(7)-① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	a・b・c

特記事項

今期、服薬管理マニュアルを整備し、防止策の徹底を図った。必要に応じ看護師との連携に努め、必要な学びの場を設けている。

		第三者評価結果
A-3-(8) 終末期の対応		
A⑲	A-3-(8)-① 利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	a・b・c

特記事項

母体医療法人との密な連携体制が確保されており、家族の希望に応じた対応ができるよう、職員には研修により周知している。
職員へのメンタル面でのケアについては、経験値の差もあると思われるので検討していただきたい。

A-4 家族等との連携

		第三者評価結果
A-4-(1) 家族との連携		
A⑳	A-4-(1)-① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	a・㉑・c

特記事項

<p>毎月の定期報告以外にも、利用者の状況については随時電話で伝え、相談にも応じている。直接会えない家族の不安を汲み取り、より丁寧な個別対応が望まれる。連携を深めるためにも、施設側からの積極的な情報提供、発信を検討されてはいかかがか。</p>

A-5 その他

		第三者評価結果
A㉑	A-5-① 外出は利用者の希望に応じて行っている。	a・㉑・c
A㉒	A-5-② 郵便や電話などの通信機会を確保している。	㉑・b・c
A㉓	A-5-③ 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できるよう配慮している。	㉑・b・c

特記事項

<p>利用者への不測の事態に備えての学習の機会は設けておらず、連絡先カードの準備もしていない。 郵便や電話の利用は利用者の意向に沿っている。 新聞雑誌の購読、テレビ等は利用者の希望に沿って利用できるよう配慮されている。</p>
